



2024年11月27日

令和6年度 VOL.11

コミュニティガーデン講座 「葛（クズ）でカゴ編み」開催

岩手県立高田松原津波復興祈念公園では、12月14日（土）に市民協働でコミュニティガーデン講座「葛（クズ）でカゴ編み」を開催します。みんなで考え、みんなで作り、みんなが楽しむ、「みんなの花壇」づくりの冬のお楽しみ。公園内でクズを刈取り、つるを使ってカゴをつくります。今回からの参加も歓迎。どなたでもお気軽にご参加いただけます。



つるカゴ 制作イメージ

◆自然の素材で、ものづくり

自然素材を使ったつるカゴづくりに挑戦。講師は「高田松原を守る会」の小山氏。クズの生態や、高田松原での取り組みを紹介しつつ、園内でつるを採取。その後、会議室に移動して、講師の作品等を参考に思い思いの大きさ、形のカゴを編みます。希望者には、お昼を挟んで完成までフォローします。

- 開催日/12月14日(土) ■時間/10:00~12:30
 - 場所/岩手県立高田松原津波復興祈念公園管理事務所
 - 定員/事前受付 各日先着20名 ■申込/電話(0192-22-8560)にて申込 12/11締切
 - 参加費/無料 ■持ち物:ハサミ(剪定ばさみ、園芸ばさみ)、必要な方はお弁当
 - 講師/NPO法人 高田松原を守る会 小山 芳弘氏
 - 主催等/共催:NPO法人 Green Fields、陸前高田花の会、高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体(指定管理者)
協力:NPO法人 高田松原を守る会、NPO法人 Green Works、おおふなと花の会
- ※本事業は、令和6年度岩手県NPO等による復興支援事業(一般枠)の補助を受け実施するものです。



つるは古川沼周辺で採取 (2024/11/26 撮影)

◆高田松原で広がるクズ

クズ(マメ科)は、山野に普通に見られるつる性の多年草。繁殖力強く、地面に覆いかぶさるように葉をひろげ生育範囲を広げます。樹木にも巻き付きながら絡みつき、枝葉全体を覆って生育を阻害し、枯死させてしまうことも。高田松原では、植栽されたマツがクズに覆われて枯れてしまうことが問題となっています。

◆活用方法を楽しく学ぶ

駆除が困難な雑草として厄介者扱いされるクズですが、古くは万葉集に詠まれるなど、日本人にとって身近な野草でした。根は漢方薬や葛粉(くずこ)として利用され、ツルの繊維からは葛布(くずぶ)を織ることができます。本イベントは、つるカゴづくりを通して、楽しみながら活用方法を考える機会とします。



高田松原の状況 (2024/11/26 撮影)

会議室はどなたでもご利用
いただけます。(有料、要予約)

＜お問い合わせ＞ 岩手県立高田松原津波復興祈念公園管理事務所 担当:尾澤
指定管理者:高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体(代表:一般財団法人公園財団、構成員:NPO法人 緑の相談室)
〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字中宿 24-3 TEL:0192-22-8560 <https://iwate-fukkokenen-park.jp/>